

(西部ガス株式会社と同時発表)

(北九州経済・金融記者クラブ同時配布)

報道機関 各位

令和2年12月14日

港湾空港局物流振興課

ひびきコンテナターミナル発

ISOタンクコンテナによるLNG輸出事業本格開始

北九州港・ひびきコンテナターミナルにおいて、ISOタンクコンテナを利用したLNG(液化天然ガス)輸出事業が開始されました。

本市は、ひびきコンテナターミナルの利用促進を図るため、西部ガス株式会社が行ったLNGコンテナ輸出トライアルの実施段階から、事業化を支援してきました。

事業化にあたっては、関係規則により定められた一隻当たりの荷役許容量が課題となっていました。本市が、安全管理基準を定め、事故を未然に防止する措置等を明確にしたことにより、荷役許容量の制限の緩和が可能になったことから事業化が実現したものです。

初回となる本日は、コンテナ40本(約720トン)が輸出されました。日本から海外向けのコンテナによる輸出量としては、過去最大となります。

本市としては、安全管理に万全を尽くすとともに、ひびきコンテナターミナルの利用促進に向け、今後も当事業を支援してまいります。

■事業概要

ひびきLNG基地においてISOタンクコンテナにLNGを充填し、最寄りにあるひびきコンテナターミナルにて一時貯蔵後、中国山東省に向けて輸出されます。

◇事業者：西部ガス株式会社

◇仕向地：中国山東省

◇事業期間：令和2年12月～令和3年3月

◇輸出貨物量：合計約12,000トン(40ftコンテナ約650本)



充填の様子(ひびきLNG基地)



荷役の様子(ひびきコンテナターミナル)

【問い合わせ先】

港湾空港局物流振興課

電話：093-321-5941(担当：日比野、則松)